

在任期間中に時価総額
を上げたのは？

「トップの 通信簿」 を大公開 ランキング150

株式市場は社長の手腕を厳しく見定めている。
誰が好成績を収めているのか。



順位	コード	社名	時価総額 倍率 (倍)	代表者役職	代表者名	現役職 就任年月	営業利益 倍率 (倍)
1	6920	レーザーテック	266.87	社	岡林 理	09/7	黒字化
2	2930	北の達人コーポレーション	94.37	社	木下勝寿	02/5	7.13
3	2413	エムスリー	78.13	代取	谷村 格	00/9	—
4	4369	トリケミカル研究所	75.88	社	太附 聖	14/4	57.26
5	3038	神戸物産	65.73	社	沼田博和	12/2	6.63
6	8909	シノケングループ	58.26	社	篠原英明	90/6	24.28
7	2326	デジタルアーツ	53.95	社	道具登志夫	97/10	60.76
8	4970	東洋合成工業	49.46	社	木村有仁	12/6	4.59
9	2427	アウトソーシング	47.58	会・社	土井春彦	10/12	—
10	2412	ベネフィット・ワン	46.20	社	白石徳生	00/6	12.08
11	2124	JAC Recruitment	45.70	社	松園 健	11/1	9.81
12	2384	SBS HD	44.54	社	鎌田正彦	88/3	25.43
13	4345	シーティーエス	44.38	社	横島泰蔵	03/4	10.04
14	2222	寿スピリッツ	43.79	社	河越誠剛	94/6	赤字化
15	2127	日本M&AセンターHD	41.05	社	三宅 卓	08/6	11.23
16	3064	MonotaRO	40.07	代執	鈴木雅哉	12/3	9.76
17	9449	GMOインターネット	37.60	会・社	熊谷正寿	03/3	23.52
18	6532	バイカレント・コンサルティング	35.85	社	阿部義之	16/12	4.21
19	8892	日本エスコン	32.08	社	伊藤貴俊	11/3	8.15
20	4816	東映アニメーション	31.68	社	高木勝裕	12/6	3.12
21	7419	ノジマ	31.50	代執	野島廣司	03/6	4,228.25
22	7747	朝日インテック	30.15	社	宮田昌彦	09/9	7.18
23	7844	マーベラス	29.95	社	許田周一	11/10	21.85
24	2752	フジオフードグループ本社	29.05	社	藤尾政弘	99/11	赤字化
25	4552	JCRファーマ	29.05	会・社	芦田 信	07/6	黒字化
26	1413	ヒノキヤグループ	28.93	社	近藤 昭	09/4	9.68
27	2160	ジーエヌアイグループ	28.61	代執	Y.ルオ	09/6	—
28	5273	三谷セキサン	28.49	社	三谷進治	01/12	6.17
29	6323	ローツェ	28.46	社	藤代祥之	15/5	11.91
30	3186	ネクステージ	28.45	社	広田靖治	02/8	6.64
31	6055	ジャパンマテリアル	26.44	社	田中久男	06/3	6.50
32	3697	SHIFT	26.21	社	丹下 大	05/9	12.52

コ ロナ禍で経営環境が激変する中、トップが果たす役割は重要性を増している。ここでは、各社代表者が現役職に就いてから直近までの株式時価総額倍率を集計した。経営成績である営業利益の変化も記載している。いわば「トップの通信簿」だ。

首位は267倍上昇

首位は半導体検査装置の開発型企業、レーザーテックの岡林理社長。時価総額は約267倍へ上昇となり、全社平均の2・2倍に比べ圧倒的な伸びだ。社長就任はリーマンショックで6・5億円の営業赤字に陥った後の2009年7月だった。事業の集中と選択へ踏み切り、まだ次世代技術だったEUV（極端紫外線）対応の検査装置を成長柱に育てると決断した。

その後、EUVで半導体ウエハーに回路を焼き付ける原版となるマスクの検査装置と、その基板材料であるマスクブランクス（検査装置で世界市場を独占。21年6月期の営業利益は260億円へ躍進した。19年以降、台湾TSMC、韓国サムスン電子、米インテルが相次ぎEUVを本格導入したことが追い風となった。

中期的に利益と株価は連動するといわれる。株価の割安度を測る

順位	コード	社名	時価総額 倍率 (倍)	代表者役職	代表者名	現役職 就任年月	営業利益 倍率 (倍)	順位	コード	社名	時価総額 倍率 (倍)	代表者役職	代表者名	現役職 就任年月	営業利益 倍率 (倍)
65	6146	ディスコ	14.95	社	関家一馬	09/4	698.76	33	6625	JALCO HD	25.47	社	田辺順一	11/10	黒字化
66	3397	トリドールHD	14.88	社	粟田貴也	95/10	—	34	3150	グリムス	23.11	社	田中政臣	05/7	3.87
67	4026	神島化学工業	14.79	社	池田和夫	10/7	1.67	35	1431	Lib Work	22.89	社	瀬口力	00/6	13.89
68	7148	FPG	14.67	社	谷村尚永	04/2	6.37	36	2352	WOW WORLD	22.62	代取	美濃和男	09/4	黒字化
69	4923	コタ	14.58	社	小田博英	04/6	3.95	37	3772	ウェルス・マネジメント	22.38	社	千野和俊	13/6	—
70	3962	チェンジ	14.55	代取	福留大士	03/4	—	38	3844	コムチュア	22.32	会	向浩一	11/4	7.24
71	4825	ウェザーニューズ	14.37	社	草開千仁	06/9	8.26	39	6035	アイ・アールジャパンHD	21.53	社	寺下史郎	15/2	7.43
72	3288	オープンハウス	14.13	社	荒井正昭	97/9	9.93	40	7818	トランザクション	21.37	社	石川諭	90/3	5.62
73	2695	くら寿司	13.77	社	田中邦彦	95/11	0.48	41	6544	ジャパンエレベーターサービズHD	21.03	会	石田克史	15/1	5.91
74	8771	イー・ギャランティ	13.71	社	江藤公則	05/4	14.85	42	2317	システナ	20.92	社	三浦賢治	09/1	4.41
75	3649	ファインデックス	13.33	社	相原輝夫	94/5	1.58	43	3635	コーエーテクモHD	20.17	社	襟川陽一	10/11	38.06
76	6620	宮越HD	13.21	会・社	宮越邦正	11/10	4.36	44	7593	VT HD	20.09	社	高橋一穂	83/3	—
77	2170	リンクアンドモチベーション	12.58	会	小笹芳央	13/1	—	45	8876	リログループ	20.07	社	中村謙一	10/10	2.83
78	3807	フィスコ	12.48	社	狩野仁志	10/3	15.25	46	3923	ラクス	19.61	社	中村崇則	00/11	4.97
79	4290	プレステージ・インターナショナル	12.44	代取	玉上進一	95/6	黒字化	47	2588	プレミアムウォーターHD	19.58	社	萩尾陽平	16/6	—
80	9627	アインHD	11.81	社	大谷喜一	88/5	21.39	48	9663	ナガワ	19.23	社	高橋修	04/6	2.39
81	4971	メック	11.79	社	前田和夫	02/6	4.58	49	3046	ジンスHD	19.11	社	田中仁	91/7	7.32
82	8871	ゴールドクレスト	11.76	社	安川秀俊	92/1	4.63	50	6200	インソース	19.06	代取	舟橋孝之	02/11	5.23
83	2150	ケアネット	11.40	社	藤井勝博	17/3	7.78	51	6564	ミダックHD	18.91	社	加藤恵子	19/4	1.71
84	4848	フルキャストHD	11.31	社	坂巻一樹	14/1	18.14	52	3936	グローバルウェイ	17.94	社	小山義一	20/11	赤字
85	7816	スノーピーク	11.15	社	山井梨沙	20/3	1.62	53	2337	いちご	17.60	代執	S.キャロン	08/10	0.59
86	2928	RIZAPグループ	11.09	社	瀬戸健	03/4	—	54	9090	丸和運輸機関	17.60	社	和佐見勝	78/10	2.74
87	4768	大塚商会	10.92	社	大塚裕司	01/8	9.51	55	9948	アークス	16.85	社	横山清	85/4	26.41
88	6966	三井ハイテック	10.91	社	三井康誠	10/4	黒字化	56	3661	エムアップHD	16.59	代取	美藤宏一郎	05/10	2.28
89	2471	エスプール	10.90	会・社	浦上壮平	06/3	14.28	57	9519	レノバ	16.57	社	木南陽介	00/5	—
90	7600	日本エム・ディ・エム	10.90	社	大川正男	09/8	6.18	58	4755	楽天グループ	16.29	会・社	三木浩史	01/2	—
91	7965	象印マホービン	10.52	社	市川典男	01/2	1.53	59	3465	ケイアイスター不動産	16.06	社	埴圭二	93/6	4.59
92	4541	日医工	10.47	社	田村友一	00/2	—	60	8066	三谷商事	16.04	社	三谷聡	98/6	7.25
93	2158	FRONTEO	10.25	社	守本正宏	03/8	3.05	61	2303	ドーン	15.37	社	宮崎正伸	09/10	黒字化
94	4776	サイボウズ	10.02	社	青野慶久	05/4	4.41	62	3769	GMOペイメントゲートウェイ	15.37	社	相浦一成	00/4	—
95	4880	セルソース	9.85	社	裾本理人	15/11	1.27	63	4819	デジタルガレージ	15.19	代取	林郁	95/8	—
96	2735	ワッツ	9.83	社	平岡史生	03/3	4.94	64	3252	日本商業開発	15.16	社	松岡哲也	00/4	—

指標にP E R（株価／1株当たり純利益）がある。仮にその企業のP E Rが一定であるなら、利益が10倍になれば株価が10倍になってもおかしくない。レーザーテックの時価総額の伸びも同様に、利益成長を考えれば当然といえる。

同様にE U Vの普及を機に存在感を増したのが、8位東洋合成工業の木村有仁社長だ。半導体の回路形成に使われる、フォトリソト用感光材を柱に据え、E U V向け感光材は世界シェア5割超を誇る。社長就任は12年6月で、2年目の14年3月期は新工場の立ち上げ負担から赤字に陥ったが、そこからV字回復と、E U V需要の期待を織り込み、株価は上昇。時価総額の伸びは49倍を超える。

木村社長は創業者の息子に当たる。ランキング上位は、同様に創業者や創業家出身者が経営に携わると同時に、大株主でもあるオーナー企業が目立つ。トップダウンで意思決定し素早く動くことが、市場を制するには重要なことがわかる。実際、ランキング上位10社は、レーザーテックとエムスリー、ベネフィット・ワンを除き、オーナー企業が並ぶ。

地方に多い新興有望企業

ランキング上位には、新興企業

順位	コード	社名	時価総額 倍率 (倍)	代表者役職	代表者名	就任年月 現役職	営業益 倍率 (倍)
129	6758	ソニーグループ	8.63	代執	吉田憲一郎	14/4	36.68
130	2897	日清食品HD	8.62	社	安藤宏基	85/6	—
131	4350	メディカルシステムネットワーク	8.50	社	田尻雅雄	99/9	29.56
132	3030	ハブ	8.42	社	太田 剛	09/5	赤字化
133	8079	正栄食品工業	8.31	社	本多市郎	98/1	2.22
134	3633	GMOペパボ	8.18	社	佐藤健太郎	09/3	2.02
135	4251	恵和	8.17	社	長村恵式	91/3	1.18
136	7570	橋本総業HD	8.12	社	橋本政昭	90/10	黒字化
137	2751	テンボスHD	8.01	社	森下篤史	97/11	3.16
138	2157	コシダカHD	7.93	社	腰高 博	00/3	赤字化
139	7590	タカショー	7.91	社	高岡伸夫	89/6	1.98
140	6630	ヤーマン	7.90	社	山崎貴三代	99/2	3.66
141	6315	TOWA	7.83	社	岡田博和	12/4	2.45
142	8113	ユニ・チャーム	7.71	代取	高原豪久	04/6	—
143	4018	Geolocation Technology	7.69	社	山本敬介	00/2	—
144	2353	日本駐車場開発	7.65	社	巽 一久	91/12	7.64
145	2137	光ハイツ・ヴェラス	7.62	社	森 千恵香	09/6	0.65
〃	2791	大黒天物産	7.62	社	大賀昭司	93/6	5.80
147	6533	Orchestra Holdings	7.61	社	中村慶郎	15/6	2.26
148	7741	HOYA	7.60	代執	鈴木 洋	03/6	—
149	3154	メディアスHD	7.59	社	池谷彦彦	09/7	4.12
150	7095	Macbee Planet	7.55	社	小嶋雄介	15/8	2.10

(注) 代表者が現役職に就任してから直近までの、株式時価総額倍率の大きい順にランキング。代表者は小社刊「役員四季報」調査ほか東洋経済調べ。役職の略号は「会社四季報」に準拠。役職区分は東洋経済基準、判断による。時価総額倍率は、代表者の現役職就任前月末から2021年11月15日までの騰落倍率。営業益倍率は、代表者の現役職就任直前決算期を基準に、直近決算期実績までの増減倍率。現役職就任が上場日より前、または同月の場合、時価総額は上場後、最初につけた終値ベースの時価総額からの騰落倍率、営業益は上場後、最初の決算期からの増減倍率。過去決算期が赤字で直近決算期が黒字のときは「黒字化」、過去決算期が黒字で直近決算期が赤字のときは「赤字化」、過去、直近決算期とも赤字のときは「赤字」と記載。両時点で会計方式が異なる、変則決算を含むなど計算不能の場合は「—」で表示。計算値は小数点以下第3位を四捨五入。HDはホールディングスの略

順位	コード	社名	時価総額 倍率 (倍)	代表者役職	代表者名	就任年月 現役職	営業益 倍率 (倍)
97	4356	応用技術	9.80	社	船橋俊郎	16/1	2.81
98	2742	ハローズ	9.76	社	佐藤利行	91/7	7.03
99	6050	イー・ガーディアン	9.75	社	高谷康久	06/4	11.18
100	8275	フォーバル	9.73	社	中島将典	10/6	5.00
〃	9824	泉州電業	9.73	社	西村元秀	00/1	3.06
102	2175	エス・エム・エス	9.72	社	後藤夏樹	14/4	3.16
103	7575	日本ライフライン	9.71	社	鈴木啓介	05/6	12.20
104	7476	アズワン	9.67	社	井内卓嗣	09/6	2.27
105	8704	トレイダーズHD	9.66	会・社	金丸貴行	09/3	2.89
106	3836	アバント	9.59	社	森川徹治	97/5	7.88
107	4684	オービック	9.58	社	橋 昇一	13/4	2.48
108	6071	IBJ	9.57	社	石坂 茂	06/2	4.92
109	9769	学究社	9.54	代執	河端真一	03/6	9.85
110	6367	ダイキン工業	9.44	社	十河政則	11/6	3.16
111	9882	イエローハット	9.43	社	堀江康生	08/10	黒字化
112	1407	ウエストHD	9.30	社	江頭栄一郎	18/11	2.04
113	8908	毎日コムネット	9.28	社	伊藤 守	79/4	4.13
114	3069	JFLA HD	9.26	社	檜垣周作	09/10	赤字化
115	2375	ギグワークス	9.24	社	村田峰人	14/8	4.41
〃	9733	ナガセ	9.24	社	永瀬昭幸	76/5	9.79
117	9418	USEN-NEXT HOLDINGS	9.19	社	宇野康秀	10/7	12.54
118	3236	プロバスト	9.14	社	津江真行	09/2	0.08
119	4726	SBテクノロジー	9.08	社	阿多親市	12/6	2.42
120	6080	M&Aキャピタルパートナーズ	9.05	社	中村 悟	05/10	7.99
121	2931	ユーグレナ	9.01	社	出雲 充	05/8	赤字化
122	9983	ファーストリテイリング	9.00	会・社	柳井 正	05/9	—
123	7164	全国保証	8.99	社	石川英治	06/7	3.56
124	3851	日本一ソフトウェア	8.90	社	新川宗平	09/7	7.52
125	7033	マネジメントソリューションズ	8.84	社	高橋信也	12/11	0.62
126	4348	インフォコム	8.82	社	竹原教博	12/4	3.18
127	4919	ミルボン	8.66	社	佐藤龍二	08/3	1.79
〃	6067	インパクトHD	8.66	社	福井康夫	04/2	5.36

も目立つ。上位10社を見ると、1990年上場のレーザーテック以外は00年以降の上場だ。老舗企業が復活したケースもある。ランキング88位の金型精密加工技術を強みとする三井ハイテックも、その1社だ。三井康誠社長が就任した10年4月当時は、半導体用リードフレームが柱だった。が、半導体市況の変動による影響が大きく、就任初年度は3期連続となる営業赤字を計上した。三井社長が第2の柱として育成を目指したのが、HV（ハイブリッド車）やEV（電気自動車）で使われる車載用モーターコアだ。国内外メーカーの開拓を進め、今や世界シェア7割を誇る稼ぎ頭に育った。22年1月期は24年ぶりに最高純益を更新する見込みだ。ランキングにはもう1つ、地方発祥企業が上位に多いという特徴がある。三井ハイテックも北九州が地盤だ。上位10社では北海道の北の達人コーポレーション、山梨のトリケミカル研究所、兵庫の神戸物産、福岡のシンケングループが当たる。地方発祥企業は自らの商圏で地盤を固めた後、商圏を広げる企業が多い。山口のファーストリテイリング、北海道のニトリホールディングスなどがそうした道を歩んでいる。(岡本亨)